

第4学年 総合的な学習の時間指導演

単元名「アイ・ラブ尾道」 尾道市立長江小学校

日 時 平成25年10月11日(金) 第5校時
場 所 第4年1組教室

1 単元について

(1) 単元観

◇本校の総合的な学習の時間の目標より

探究的な学習を通して、地域や人と「かかわり」ながら多面的に問題を追究する方法を身に付け、主体的、かつよりよく問題を解決する能力や協同的な態度を育てるとともに、自分の生活に生かしたり、これからの自分の生き方を考えたりすることができるようにする

◇本単元のねらい

長江小学校では、4年生の総合的な学習の時間のテーマを「アイ・ラブ尾道」として、尾道のよさについて調査する活動を通して、郷土尾道のよさを実感すること、地域を守っている人々とかかわる中で、その活動に込められた郷土尾道への思いや願い、努力について学ぶこと、さらに学んだことを地域に返し、学習を生活化することをねらいとしている。

尾道のよさとしては、景観の美しさ、古くから受け継がれてきた伝統・文化、お寺や神社、海産物や特産物などが挙げられ、観光客も多く訪れる。そこには、郷土尾道を大切に思い、発展させようと努力している人々の思いや願いがある。尾道のよさを受け継ぎ、発信していくための努力をしている人たちの知恵や工夫もある。しかし、それらは、普段の生活の中では気付きにくいものである。

本校の4年生は、三次市布野小学校との交流を32年間続けている。この交流会は、アララギ派の歌人「中村憲吉」のご縁により始まった交流会である。中村憲吉は、生誕の地である布野を離れ、病氣療養のために尾道にやって来た。そして、尾道が終焉の地となったという縁で始まった交流である。今年は、布野小学校をお迎えする年である。お迎えする年には、尾道駅前や商店街を案内し、お寺や神社、海産物や特産物を紹介し、布野小学校の友達に「尾道のよさ」を伝える活動を行っている。「布野小学校の友達に尾道のよさを伝え、好きになってもらおう。」という目的意識を持ち、「尾道のよさ」を協同的に調査する中で、児童は、地域のお寺や神社、特産物といった「もの」だけではなく、それらに込められた人々の思いも含めて「地域のよさ」として捉えることができ、郷土尾道に対する愛情がより高まると考え、本単元を設定した。

(2) 児童観

本学級の児童は、3年生の2学期に、「おもてなしの心を学ぼう～長江の町へ弟子入り体験」の学習を行い、地域での職場体験を通して、相手の立場に立って行動する「おもてなしの心」について学んだ。学んだことを生かし、3学期には、「地域交流会を開こう」の学習を行い、地域のお年寄りをおもてなしする学習を行った。児童は、1年間を通じて「おもてなしの心」について学び、学んだことを地域へ返す学習活動を行うことを通して、自分と地域、友達などとの「かかわり」に気付き、感謝の気持ちを大切に、相手意識を持っておもてなしをすることの大切さを学んできている。

4年生の1学期の「アイ・ラブ尾道」の学習では、「尾道の桜」に焦点を絞り、学習を進めてきた。4月には、満開に咲き誇る桜の美しさにふれ、全児童が、「尾道の桜」のよさやその価値を実感し、「尾道の桜」に対する課題意識を高く持つことができた。多くの児童は、課題解決のため目的意識を持ち、意欲的に情報収集を行い、学習課題を解決しようとしていた。一方で、解決できない学習課題があっても、それ以上追求しようとしなない姿も見られた。困難なことがあってもそこで諦めず、学習課題を粘り

強く追求しようとする態度に課題が見られた。7月には、樹木医さんや市役所観光課の方にインタビューし、桜の生態や歴史についての理解を深めると同時に、桜を保護する人々の思いや願いを知ることができた。児童は、毎年1500本もの桜がきれいな花を咲かせることができるのは、郷土を愛する人々の思いや願いを受け継ぎ、桜を愛し、守っている人々の努力の積み重ねによるものだと思えることができた。「尾道の桜」に焦点化した学習を行い、桜について調べることを通して、郷土尾道に対する人々の思いにふれることができたが、地域から学んだことを自らの生活に返そうとする心はまだ十分に育っているとは言えない。

また、本学年の児童は、半数近くが学区外から通っており、長江校区の地域とのかかわりは比較的薄いととらえている。尾道商店街を通ったことはあるが、日常生活の中でのかかわりが少ない児童が多い。実際に、本単元の学習において、「尾道ならではの物を探るため、尾道駅前を探検した時には、「この辺りをあまり歩いたことがない。」「尾道ならではの物は、自分では分からない。」という意見も聞かれた。「尾道のよさ」が、児童の生活の中で実感を伴って理解できていないという課題が明らかになった。

(3) 指導観

指導にあたっては、「尾道のよさ」について探究的な学習を通して、地域のよさに気づき、地域から学んだことを地域へ返し、還元しようとする心を育てることをねらいとしている。

課題設定においては、まず、「中村憲吉」の縁が発端となった交流会であることを十分意識させ、「中村憲吉」を交流会の中心に据え、常に意識しながら学習を進めていく。また、交流会の歴史について先輩から話を聞いたり、交流会を経験した6年生の話を聞いたりする活動を取り入れ、「中村憲吉のご縁で始まった交流会で、(本年度は)尾道のよさを布野小学校の友達に伝え、尾道を好きになってもらう。」といった目的をしっかりと理解させた上で、学習をスタートさせる。32年間、代々受け継がれてきた交流会を、今年自分たちが行うことへの責任感、「自分たちの手で成功させたい。」という意欲を個々にしっかりと持たせ、児童の思いや願いを大切にしたい学習活動を展開させていきたい。

情報収集においては、体験を通じた情報収集を重視する。実際に尾道市内を見学し、「尾道のよさ」を情報収集する際には、見たり、写真撮影したりするだけでなく、インタビュー活動も取り入れる。そうすることで、人々の思いや願いなどに直接ふれることができ、地域の魅力や地域の人々の「郷土尾道」に対する意識を探ることができ、地域のよさを人々の生活の中から発見することができる。インタビューの際には、フリップボードを提示し、初対面の人にも、児童が安心してインタビューすることができるようにする。収集した情報は、小見出しやタイトルをつけてファイリングするなどして分野ごとに再構成し、情報を再確認したり、学習の歩みを振り返ったりするとき活用しやすいようにしておく。

整理・分析においては、「尾道のよさ」について、多様な方法で収集した情報を分類したり、収集した情報の共通点や相違点を見出したりして、思考する活動へと高めていきたい。その際、自分が収集した情報をカードや付箋に書き出し、それをペアやグループで協同的に整理・分析する活動を取り入れる。集めた情報をグルーピングし、地図上に表したり、見出しを付けてまとめたりすることで、自分にはなかった友達の考えに気づくことができ、「尾道のよさ」への見方や考え方が広がりやすくなり、実感を伴った理解につながりやすくなる。と考える。

まとめ・表現については、尾道のよさを伝える相手やその目的を明確にし、まとめや表現の手法をグループで十分検討させていきたい。そのために、各教科で身に付けてきた表現方法を積極的に活用できるように、既習事項を掲示したり、人物館にまとめ方を学びに行ったりする機会を設定する。また、児童が、パンフレットやリーフレットをいつでも手に取りやすいようにしておき、初めて訪れた人にとって分かりやすいまとめ方の参考にもさせたい。初めて尾道を訪れる相手に、尾道のよさを伝え、好き

になってもらうためには、どのような表現方法をとるとよいか考えさせ、適切な表現方法を自分なりに選び、表現させていきたい。その際、表現手法にのみ偏って考えるのではなく、「おもてなしの心」にも立ち返りながら学習活動を進めていきたい。

2 研究主題とのかかわり

- 本単元の学習をスタートさせる際、「布野小学校との交流会で、布野小学校の4年生に尾道のよさを伝え、尾道を好きになってもらおう。」という、本学習の目的意識をしっかりと持たせる。また、交流会までの日程やそれまでの準備事項を「スケジュール表」に表し、各グループで見通しを持ち、主体的・計画的に準備を進めていくようにする。
- 交流会に必要な係の仕事を考え、一人一役責任を持って行わせることで、仕事をやり遂げた達成感を味わわせたい。集団の一員として、自分の役割を果たせた満足感を一人一人にしっかりと味わわせることを通して、自己肯定感を高め、さらなる学習意欲へと高めていきたい。
- 人、社会、自然と直接かかわる体験活動を通して尾道のよさを体験的に理解し、新たな発見や感動に出会わせることを通して、「もっとかかわりたい。」「もっと学びたい。」という課題意識を持たせ、探究活動への意欲を高める。

3 単元の目標

- 布野小学校の友達に「尾道のよさ」を伝える目的意識を持ち、「尾道のよさ」について調べたりまとめたりしようとしている。(活動への意欲)
- 学習課題解決のため、目的意識を持って情報を収集、取捨選択し、工夫してまとめることができる。
自分や友達のよさに気づき、学び合うことができる。(学び方の習得)
- 地域の人々の思いや願い、努力について学んだことを基に自らの生活を振り返り、地域を大切にしている心情を養い、行動することができる。
相手意識を持ち、相手の思いや気持ちを大切にしながら接することができる。(生き方の追究)

4 単元の評価規準

活動への意欲	学び方の習得	生き方の追究
①布野小学校との交流会に向け、交流会の意義を理解し、布野小学校の友達に「尾道のよさ」を伝える活動や方法を積極的に考えようとしている。 ②尾道のよさに興味をもち、疑問、課題、やりたいことを見付け、粘り強く解決しようとする。	①地域のよさや特色を調べる方法を見つけ、見通しやめあてをもって追究する。 ②調べた情報から必要なものを取捨選択する。 ③相手や目的に応じて表現方法を工夫しながらまとめたり、発信したりしている。 ④自分らしさ、自分のよさを見つけ、わかりやすく表現する。 ⑤学習を振り返り、よさや課題に気づく。友達のよさに気づき、お互いに伝え合う。	①地域の人々の取り組みや考え方を知り、自らの生活や生き方について考える。 ②相手の思いや考えを大切に、自分の考えと比較しながら聞く。相手や場に合った接し方をする。

5 学習指導計画（全42時間）

次	時	学習活動	評価規準	観点【 】 評価方法
一	1 2	○交流会の歴史や内容について先輩から話を聞き、「交流会」の意義や目的を理解する。	○交流会に対する先輩の思いや交流会の意義を理解し、交流会への意欲を高めている。	【意①】 感想
	3 4	○布野町について調べ、尾道との違いに気付く。	○布野町の地域の特色について調べ、尾道との共通点や相違点を考える。	【学①】 ワークシート
	5 6	○中村憲吉について調べ、交流会の目的を明確に持つ。	○中村憲吉と布野、尾道とのかかわりについて調べ、まとめる。	【学①】 ワークシート
	7 8	○交流会の目的を踏まえ、交流会当日やそれまでの準備計画を立てる。	○交流会の意義や目的に基づき、交流会に必要な係や準備事項を考え、今後の学習計画を立てている。	【意①】 ワークシート
二	9 10	○千光寺公園を案内する場所を決め、案内に向けて準備する。	○千光寺公園の桜について調べた情報から必要なものを取捨選択し、伝えたい内容を決めている。 ○布野小学校の友達に分かりやすく伝えるため、絵や写真など表現方法を工夫しながらまとめている。	【学②】 ワークシート 【学③】 制作物
	11	○「尾道ならではの」について調べ、尾道のよさに興味を持つ。	○尾道のよさについて、進んで本やパンフレットなどで調べようとしている。	【意②】 ワークシート
	12 13	○尾道駅前を探検し、「尾道ならではの」を発見する。	○尾道のよさを発見するめあてをもち、様々な調査手法をとり、情報収集している。	【学①】 探検メモ
	14 15 (本時)	○「尾道ならではの」について収集した情報を整理し、「伝えたいことベスト3」にまとめる。 ○尾道駅前商店街を案内する時に、布野小学校の友達に伝えたいことを決める。	○調べた情報を分類したり、地図にまとめたりする。 ○「尾道ならではの」を視点に、布野小学校の友達に伝えたいことを決める。	【学③】 ワークシート 【意②】 ワークシート
	16	○尾道駅前の案内に向けて準備する。	○布野小学校の友達に分かりやすく伝えるため、絵や写真など表現方法を工夫しながらまとめている。	【学③】 制作物
三	17 18	○千光寺、尾道駅前を案内する練習をする。	○友だちの案内の仕方のよさに気づき、自分の案内に生かそうとする気持ちを持つ。	【学⑤】 振り返り
	19 20 21	○案内のリハーサルをし、案内や説明の仕方について工夫改善を行う。	○より分かりやすい案内にするために工夫改善し、自分の案内の仕方のよさに気付く。	【学④】 振り返り

	22 23 24 25 26	○「尾道ならではの」のプレゼントを考え、作る。	○布野小学校との交流会の意義を踏まえ、布野小「尾道のよさ」を伝えるためのプレゼントを考え、心をこめて製作しようとしている。	【学①】 ワークシート
四	27 28 29	○交流会のリハーサルを行う。	○リハーサルを振り返り、友達のよさやアドバイスを伝え合う。 ○アドバイスを基に工夫改善し、自分の案内の仕方が向上したことに気付く。	【学⑤】 振り返り 【学④】 振り返り
五	30 31 32 33 34 35	○交流会をしよう。	○相手の思いや考えを大切に、「おもてなしの心」で、相手や場に応じた接し方をする。	【生①】 行動観察
	36 37 38 39 40 41 42	○交流会を振り返る。 ○交流会のまとめをする。 ○報告会の準備をする。 ○交流報告会をする。	○学習を振り返り、交流会を通して自分や友達、学級のよさや課題に気付き、伝え合う。 ○交流会を通して学んだこと、地域から学んだことを振り返り、これからの生き方を考える。 ○全校に分かりやすく伝えるため、表現方法を工夫しながらまとめている。 ○全校や保護者に分かりやすく伝えるため、場に応じた声の大きさや速さで話している。	【学⑤】 感想 【生①】 行動観察 【学③】 制作物 【学③】 行動観察

6 本時の展開

(1) 本時の目標

自然、伝統文化、特産物、それらに込められた人々の思いや願い、努力も含めて「尾道のよさ」であることを理解し、交流会の目的を踏まえ、布野小学校の友達に伝えたいことを決める。

(2) 本時でめざす児童の姿



布野小学校の友達に伝えたいことについて個々の考えを出し合う際には、まず、友達の思いや考えを受け止めながら情報交換していく。続いて、互いの考えの共通点や相違点に気付いたり、考えの関連性を見つけたりしながら、協同的学びを通してグループとしての考えへとまとめていく。

布野小学校の友達に伝える「尾道のよさ」は、自然や伝統文化、特産物から偏りなく選ぶことが適当であること、それらに込められた人々の思いや願いについても伝えることが大切であることに気付かせる。

(3) 準備物

パソコン、プロジェクター、ビデオカメラ、尾道の地図

(4) 本時の学習過程

段階	学習活動	教師の働きかけ 支援○評価☆方法【】	
		T 1	T 2
導入 (5分)	<p>○前時までの学習を想起する。</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。</p>	<p>○前時の学習において、「尾道のよさ」について調べたことを整理し、「布野小学校の友達に伝えたいことベスト3」を自分なりに考えたことを想起させる。</p>	<p>○前時の学習を振り返るため、掲示物を指し示す。</p>
<p>布野小学校の友達が、尾道を好きになってくれるよう、「尾道のよさ」について、布野小学校の友達に伝えたいことを決めよう。</p>			
展開 (35分)	<p>○グループごとに話し合い活動を行う。</p> <p>①ペアで考えた「布野小学校の友達に伝えたいことベスト3」を出し合う。</p> <p>②お互いの考えの共通点や関連性、相違点に沿って付箋紙を地図上に整理し、グループで「布野小学校の友達に伝えたいことベスト3」を決めていく。</p> <p>○6年生のアドバイスを聞き、アドバイスを参考に、グループで伝えたいことを決める。</p>	<p>○それぞれのグループの話し合い活動の様子を見ながら、自分の考えと友達の考えの共通点、関連性に気付かせながら意見交換していくよう、机間指導を行って支援をする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">自ら考えるための工夫</p> <p>「伝えたいことベスト3」はペアで付箋紙に書いておき、それを地図に置きながら、地理的位置も分かりやすく整理していく。</p>  </div> <p>○交流会の目的に立ち返って考えていくとよいことに気付かせる。</p> <p>○布野小学校の友達に伝えたいことがたくさんあり、その中から伝えたいことをどのように決定していくとよいか困っているグループには、話し合いを一旦中断させ、違うグループに相談する機会を設けるようにする</p>	<p>○それぞれのグループの話し合い活動の様子を見ながら、自分の考えと友達の考えの共通点、関連性に気付かせながら意見交換していくよう、机間指導を行って支援をする。</p> <p>○プロジェクターの準備をする。</p> <p>○6年生のアドバイス映像を流し、アドバイスを参考に、視点を絞って伝えたいことを決めていくよう指導する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">かかわりの工夫</p> <p>6年生のアドバイス映像を流し、「尾道ならではの」の視点で選んでいくようにする。</p>  </div>

	<p>○布野小学校の友達が、尾道について知っていることや知りたいと思っていることを聞き、再検討する。</p> <p>○グループで決めたことや変更したことを発表する。</p>	<p>○布野小学校の友達が、尾道について知っていること、知りたいと思っていることを伝え、相手意識を持ち、再検討していくようにする。</p> <p>○決めたことだけを発表するだけではなく、6年生のアドバイスや布野小学校の思いを聞いて変更したことについても発表していくようにする。</p> <p>☆「尾道ならではの」を視点に、布野小学校の友達に伝えたいことを決めている。【発表・ワークシート】</p>	<p>○布野小学校の友達が知りたいことを板書し、再検討の視点を明確にする。</p> <p>○児童がどのような視点で案内する場所を決めたのか、板書する。</p>
<p>振り返り（5分）</p>	<p>○本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに振り返りを書く。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「振り返り」での例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほくは、布野小学校の友達に伝えたいことを、始めは、パンフレットで見た食べ物ばかり考えていました。でも、6年生の話を聞いて、「歴史の町尾道」についても伝えていきたいと思いました。伝統や歴史についても、「尾道ならではの」があると気付きました。地元の人しか知らないことも伝えたら、布野小学校の友達は、びっくりして喜んでくれると思います。 </div>	<p>○振り返りの視点を与え、簡潔に書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えがどのように変わったか ・友だちの考えに対する自分の考え ・価値があると思った友だちの考え 	

(5) 板書計画

